

2021年度 活動方針・事業計画(案)

1 活動方針

- ・「なにわエコ会議」は、市民、環境NGO/NPO、学識経験者、事業者、大阪市が一体となって、地球温暖化防止活動をはじめ、さまざまな地球環境問題に取り組み、SDGsの達成に寄与していきます。
- ・環境情報誌「なにわエコウェーブ」の充実をはじめあらゆる場面での積極的な情報発信や情報共有を通じて、会員団体・役員団体との連携を強化するとともに、あらゆる環境活動団体との連携・交流を深め、なにわエコパートナーの拡大を図ります。
- ・「環境にやさしいライフスタイルの推進」、「企業の環境配慮行動の推進（環境にやさしい企業活動の推進）」、「地域と連携した環境教育啓発活動の推進」、「生物多様性の発見と行動の推進」を活動の柱とします。
- ・なにわエコ会議活動の実施に当たっては、SDGsを意識した行動が促進されよう、「環境ふれあいひろば」など、4部会が協働して取り組みます。

2 事業計画

【重点項目】

なにわエコ会議として、次の重点項目を掲げ、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会を目指す地球温暖化防止とともに、ごみ減量、生物多様性など環境問題の解決に向けたさまざまな取組みを推進し、SDGsの達成に貢献します。

- ① 情報発信を強化し、会員団体・役員団体や環境活動団体との連携を行うとともに、なにわエコ会議の魅力や知名度を高め、子どもや学生など若い世代の参加を促進し、会員数や活動参加者の増につなげていきます。
- ② 「なにわエコ会議賞」を活用し、さまざまな環境活動を積極的に実践している個人や団体を応援、連携していきます。
- ③ 区役所などのイベント主催団体との相互協力を強化し、環境出前講座をはじめとする地域での環境教育・啓発活動を精力的に推進します。
- ④ 地球温暖化防止やプラスチックごみ削減に向け、市内で活動する事業者などと協働した取組みを推進するとともに、大阪市環境経営推進協議会と連携を図ります。
- ⑤ エコバッグを常時携帯する「大阪エコバッグ運動」や「天神祭りごみゼロ実行委員会」に参加し、レジ袋削減の取り組みなど地域ぐるみの資源循環型社会の形成をめざした活動に参画します。
- ⑥ 市内で生物多様性保全に向けて活動する団体と連携、協働を行い、環境や生き物の多様性を守

る行動へつなげていきます。

【部会の取組み】

(1) エコライフ部会

地球温暖化の緩和と適応をはじめ、気候変動の影響への対策も踏まえながら、人や環境や社会に配慮した持続可能社会の提案と脱炭素社会の構築に向け、市民一人ひとりの実践行動を支援していきます。

- ① 賢い選択（クールチョイス）のために家庭部門を主なターゲットとして、冊子「楽しくかしこくエコライフ（改訂版）」を活用したセミナーなどを行います。
 - ② 省エネ・省資源の取組みや、プラスチックスマートとして、マイバックを常時使用し、ワンウェイ容器はできる限りやめて、BYO容器やTAPを使用し、エコライフを推進します。
- 活動に当たっては、一人ひとりが環境ドクター意識をもって、1mmでも前に進む活動とします。

(2) 環境教育・啓発部会

環境問題に関心を持ち活動している個人・団体等と積極的に連携を深め、地域と連携した環境教育・啓発活動を推進するとともに、若い世代の参加の促進を図ります。

- ① 市内各区・団体等のイベントに積極的に参加するとともに、地域と連携した取組みを行います。
- ② イベントの実施にあたっては、保育所・幼稚園・小中学校のPTAや大学・高等学校等の教育機関や環境保全活動に取り組んでいるサークル等との連携を図ります。
- ③ 「脱炭素社会」や「プラスチックごみ減量」、「SDGs」などを取り入れた環境教育、啓発活動を、さらに推進します。
- ④ 大阪市の環境副読本である「おおさか環境科」や「食べ残しNOゲーム」などを活用した出前講座を実施します。
- ⑤ 「エネルギー関連実験機材」「エコすごろく」「エコ紙芝居」「なぞなぞ帳」などの活用を図り、効果的な環境教育・啓発活動を、さらに推進します。

(3) 環境に配慮した企業部会

脱炭素社会やプラスチックごみによる海洋汚染の防止など社会の課題に解決に向けて、企業の環境への取組みを促進するために、大阪市、企業・企業団体と連携した活動を推進し、持続可能な経済社会の構築に貢献していきます。

- ① 脱炭素社会推進やプラスチックごみ削減など大阪市の環境関連施策に協力していきます。
- ② 大阪市環境経営推進協議会の環境活動（セミナーや視察研修会等）に協力していきます。
- ③ エコアクション 21 認証取得及びレベルアップの EA21 スクール（講習会）を実施します。
- ④ CO2 削減コンペ・プラスチックごみ削減コンペを実施し、優秀な事業者には、大阪市と連名で表彰を行います。また、表彰式と併せて環境セミナーや事例発表会を開催します。
- ⑤ 事業者からの希望に応じて、SDG s や ESG 経営などの取組みについて、オンライン相談や訪問相談による支援を行います。

（４） 生物多様性部会

生物多様性危機の話題がマスコミなどで頻繁に伝えられていますが、生物種の絶滅が急速に進んでいると考えられています。生物多様性はバランス崩壊の原因について、乱獲や開発、自然に対する働きかけの縮小（里山の消滅等）、外来種の侵入、地球温暖化等さまざまな要因が考えられています。

現在の経済・社会・環境保全等を担う者は、現状を改めて認識し、改善に努めることはもちろん、次世代を担う子どもたちには生物及びその生息環境を見る目を養い、生物多様性の認識を持つように教育・啓蒙することが重要である。

生物多様性部会は、広く市民に生物及び生物多様性の重要性を知ってもらうとともに、特に、子どもたちに関心を持ってもらうことを目的に、「大阪市生物多様性戦略（2021.3）」に基づいた普及・啓発等を行い、また、その効果を高めるために、様々な団体とのネットワークの形成に努めます。

- ① 市立図書館と協働して、水生生物の標本や関連図書の展示と講座を開催します。
- ② 子どもたちを対象に、魚類など生物との関わりを学習できる体験会に取組みます。
- ③ 生物多様性に関連する団体や市内各区のイベントに積極的に参加、協働し、生物多様性の保全に向けた活動を行います。